

沖縄

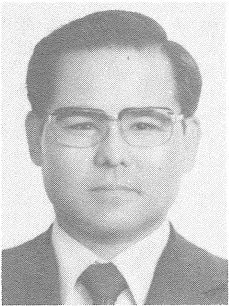
キリスト教短期大学報

那覇市首里当蔵町3-6-1
沖縄キリスト教短期大学
電話 (0988) 87-5161

発行人 学長 大城実
編集人 事務局 総務課

沖縄キリスト教学院の歩むべき道

理事長 亀川栄一



本学院の歩むべき道を
何に求め、いかに定めたか。

建学の精神の堅持

元文部大臣で最高裁長官を歴任された田中耕太郎博士は、教育基本法の教育哲学的考察と題する小論で「教育を最も広義に解するならば、人生や社会生活自体が教育である。日常生活に見るもの聞くものすべて教育となり得ないものはない。とくに社会生活上個人が持つ体験、その社会において支配的な精神的風土とその社会が受け継ぎ長年にわたって蓄積してきた文化的遺産(例えば法、国家、習俗、宗教、芸術、学問等)は個人に深甚な教育的効果を及ぼすものである。しかしこの場合には教育される者は存在するが教育者は存在しない。教育するものがあると云ってもそれは非個人的である。この場合は一部の学者のいう機能教育(Funktionelle Erziehung)すなわち、無意識的過程中に実現さ

さて、学校法人沖縄キリスト教学院は、その寄付行為第二章(目的及び設置する学校)第三条において、高等学校教育の基礎の上に一般学術を習得し、二年の大学教育を施し、更にキリスト教の専門的知識を究め個人の人格完成、社会に有用な人物を養成することを目的とすると規定している。これ

「大学は株式会社で学生は株主のようなものであるか? 大学は知識や技術の百貨店、就職のための待合室か?」この問題に対する解答は本学院にあっては否でなければならない。

右の使命を失ったとき本学院はその目的の不成就の故をもって解

れるものであり、意識的計画的に行なわれるものではない。我々がここで問題とするのは教育的行動をもって計画的に行なわれる教育つまり有意的教育(Intentionale Erziehung)である。すべての人間の意識的行動はなんらかの目的に向けられている。そうして教育もその例に漏れない。しかし長年の間教育に献身してきた教育者がその教授する個々の科目の教育を離れて、教育的活動全体の目的、意味をはっきり把握しているとは限らない。我々は教育的活動が向けられている一般的目的について不断に学問的な反省をすることが必要である。そうでなければ教育的活動は不知不識の間に、または社会の外部変化により影響されて正しい軌道から逸脱しないと保証しえないのである」と教育について論じ、教育目的が軌道を逸脱しないため我々が不断に学問的な反省を必要とすることを強調しておられる。

本学院は短大の教育を通して、価値観が混乱(多様化)し、指針を失った社会を、目的の見出せない学問を、高邁な理想を掲げる宗教的倫理で導き、また救いを失った個人を高尚な宗教道徳で指導する崇高な使命をになうものであると解するものである。つまるところ本学院の創設者達の願いである建学の精神はキリストの愛をもって社会に奉仕する人物の養成にあったのであるからキリスト教教育こそが、本学院の崇高なる使命であり従って、田中耕太郎博士が嘆く「大学は株式会社で学生は株主の

しかしながら、本学院の使命達成、社会のニーズに答えるためには現状のままではいかんともしがたく、とりわけ本短大の現在の校地、建物の面積は文部省の短大設置基準にほど遠く校地は基準の

(二面へ続く)

一坪献金感謝報告(2)

1981年11月1日～1982年1月31日(順不同 敬称略)

ご献金ありがとうございます。
この報告は、今回より受入額でご報告いたします。

団体	上諏訪教会 35,000	櫻村 辨市 35,000	村部 嘉信 1,000	山城 裕 35,000
久場商会 35,000	山口信愛教会 35,000	曾野 綾子 35,000	塚本 洋太郎 3,000	花城安夫・静子 70,000
キリスト者遺族の会 35,000	関西学院教会 2,000	赤星 進 35,000	大浜 亮一 35,000	西銘 久恵 35,000
(株)丸正印刷 70,000	尼崎教会 35,000	岡村 民子 35,000	松田 一路 300	富川 ハル子 35,000
沖縄薬品 35,000	田園調布教会 10,000	安達 正敏 30,000	和田 千萬亀 1,000	松本 ひろみ 35,000
(株)サンエー 175,000	河内天美教会 10,000	小崎 静 3,000	比嘉 徳政 10,000	大城 真利子 35,000
儀間本店 35,000	鳥取教会 20,000	山下 安武 35,000	蛇江 紀雄 5,000	恩河 喜久子 5,000
沖縄相互銀行 175,000	大和榛原伝道所 1,000	仲綿 彦 35,000	幸地 準一 35,000	与那城 光子 5,000
広島女学院 35,000	国分寺教会 120,000	古城 九州男 35,000	友寄 成 175,000	又吉 洋子 5,000
琉球リッカー 35,000	播州赤穂教会 4,000	重松 宗篤 5,000	山川 実 35,000	普久村 カヨ子 5,000
琉球産経(株) 5,000	札幌北光教会 35,000	國安 敬二 5,000	当真 嗣弘 35,000	具志堅 弘美 5,000
梅光女学院短大 20,000	高槻向山伝道所 35,000	高倉 国泰 500	屋良 朝光 35,000	喜名 洋子 5,000
梅光女学院中・高等学校 50,000	芦屋岩園教会 35,000	江尻 弘 3,000	我喜屋 維昌 50,000	宮城 ヨシ子 5,000
鶴川シオン幼稚園 35,000	香里教会 5,000	照山 虎寿 3,000	新崎 盛繁 35,000	西原 朝子 5,000
福岡女学院短大 30,000	横浜磯子教会 35,000	山中 朋二郎 1,000	大城 立彦 35,000	平良 弘子 5,000
OK給油所(大山盛保) 100,000	長門教会 35,000	藤 朋夫 1,000	照屋 善裕 10,000	匿 良希望 3,000
キリ短祭 44,565	韓国聯合教会 3,000	洪 淳珏 70,000	仲吉 朝祐 35,000	与那嶺 妙子 15,000
ガラクタ市 35,000	秦野教会 35,000	相川 栄蔵 2,000	山根 光永 35,000	辺土名 貞子 20,000
沖縄月星(株) 10,000	岳南教会 3,000	青木 優 35,000	村田 精太郎 35,000	橋本 勇 35,000
本荘幼稚園 10,000	浅草北部教会 5,000	東海林 勤 35,000	崎枝 哲人 35,000	大城 実 90,000
教会	高知教会 10,000	伊藤 邦幸 7,000	仲尾次 秀子 25,000	大城 亘武 20,000
北九州復興教会 1,000	宇部緑橋教会 35,000	子島 郁郎 35,000	山城 紀子 15,000	比嘉 健次郎 20,000
東村山教会 2,000	西川口教会 10,000	福井 達雨 3,000	金城 由美子 35,000	漢 那村 憲治 20,000
室町教会 35,000	信夫教会 35,000	比嘉 ウタ 35,000	伊志嶺 朝次 35,000	中村 秀樹 8,000
港復活教会 2,000	松戸教会 35,000	伊藤 正明 5,000	栗国 悦子 35,000	知花 正勝 40,000
防府教会 100,000	西仙台伝道所 1,000	大藤 孝一 35,000	安次富 長昭 35,000	前里 光盛 140,000
むさし小山教会 2,000	上賀茂伝道所 10,000	立岡 重太郎 1,000	松岡 政保 100,000	与儀 勝彦 9,000
世田谷平安教会 5,000	三軒茶屋教会 35,000	蛭子 英二 1,000	大城 亀助 35,000	崎山 恵子 9,000
小田原教会 5,000	個人	小林 恒喜 10,000	西尾 市郎 35,000	松田 定雄 30,000
醍醐教会 35,000	石原 英一 35,000	弓削 達 2,000	新里トミ・和子 30,000	金城 ミサヲ 6,000
愛隣教会 35,000	清水 トシ 2,000	松原 武夫 35,000	高宮城 真佐子 35,000	栄野比 加代子 6,000
南豆教会 5,000	江見 淑子 15,000	遠藤 富壽 2,000	新垣 芳子 20,000	与那 ヨシ子 6,000
水口教会 5,000	大下 幸恵 10,000	宮崎 信彦 2,000	宮城 ケイゾー 10,000	渡久地 政順 20,000
大阪東十三教会 3,000	川平 朝清 25,000	池宮 与吉 35,000	又吉 ケイヨ 2,000	津波古 さくえ 15,000
浦河伝道所 2,000	清水 安三 35,000	桜井 成廣 1,000	仲宗根 重松 35,000	宮元 和子 8,000
大宮教会 5,000	花岡 政吉 10,000	後藤 千秋 3,000	仲宗根 貞子 35,000	山里 恵子 35,000
東京府中教会 3,000	大森 聡明 20,000	岸本 清夫 5,000	高江洲 良次 5,000	真栄城 隆司 30,000
大野教会 2,000	高橋 喜久江 35,000	金沢 須恵吉 2,000	仲村 起徳 35,000	金城 久子 25,000
高幡教会 5,000	重本 芸城 35,000	田中 豊 1,000	中村 正徳 35,000	吉永 紀子 8,000
四條町教会 10,000	宮原 守男 35,000	山本 武徳 1,000	垣花 豊順 10,000	外間 きみ子 15,000
浦和ルーテル教会 1,000	秋山 清 35,000	三島 泰平 2,000	大城 満子 7,500	照屋 敏勝 50,000
横浜磯子C.S. 35,000	田中 澄江 35,000	羽島 直之 1,000	座間味 とみ子 15,000	松田 道子 14,000
市川教会 1,000	高橋 三郎 35,000	十原 俊明 35,000	村山 正義 15,000	神山 美代子 40,000
徳山教会 10,000	吉利 和 35,000	和田 笑津子 35,000	亀島 義昇 35,000	新垣 政信 27,000
松本教会 6,000	小林 孝輔 1,000	神保 信一 15,000	石川 常子 25,000	下地 玄毅 7,000
八雲教会 5,000	大島 宗彦 1,000	松本 望 100,000	大嵩 和子 35,000	儀間 朝健 10,000
阿佐谷東教会 20,000	長谷川 浩一 70,000	宮田 光雄 70,000	大川 富士子 35,000	浅野 恵美子 35,000
	佐藤 志津子 35,000	松本 伸吉 2,000	新垣 照子 70,000	泉川 美枝子 35,000
	藤森 元 35,000	奈良林 祥 35,000	仲村 恵子 35,000	樋口 左右子 100,000
	藤田 直幹 35,000	小沢 辰男 1,000	鈴木 藤実 10,000	内海 健寿 1,000
		栗原 正 2,000	斎藤 三郎 35,000	藤 益 3,000
			湊 治郎 35,000	大嶋 功 2,000

☆☆☆☆☆
詩記の立ち出し
☆☆☆☆☆

◇ 今、卒業の時。心の中をかけめぐるさまざまの想い。
◇ はるかなる望みを胸につどいきた若い仲間達。心ゆく
◇ まで勉強した。恋もした。人知れず涙をぬぐい育ちの
◇ 痛みを忍んだ日もあった。喜びのとき、輝く日。いつ
◇ しかひとつの学びを終えて、今、旅立つ。

◇

卒業雑感

英語科
砂川
島子

頭の中で、まるでおもちゃ箱のような雑居さをなしているキリ短での思い出。それらを文字で表現するととなると、ちっともペンが進まない。

キリ短の学生となって、ものの見方、考え方がより柔軟になったことは確かである。

例えば、入口から校舎までのあの坂道。入学したての頃は、ただ、なんてイヤな坂なんだろうとしか考えなかった。遅刻、遅刻寸前ともなると、あの坂が仁王様のように立ちはだかって見えたものだ。ところが今では、あの坂にも良い点がないわけではないと考えるようになった。朝早く、寝惚けまなこをこすりつつ登校する時、あの坂を登るうちに目が覚め、頭が冴えてくる。運動不足気味な時には、一気にかげ登れば、いい運動にもなる。

こんな風に、イヤな事にも何か利点を見い出すという考え方の柔軟さは、キリ短で、様々な分野の講義を受けたことに因ると思える中学校での教育実習によつてもものの方、考え方が養われた。学生であつて教師でもあるという相反した二つの立場で過ごした二

こんな風に、イヤな事にも何ヵ
利点を見い出すという考え方の柔
軟さは、キリ短で、様々な分野の
講義を受けたことに因ると思える
中学校での教育実習によっても
ものの見方、考え方が養われた。
学生であつて教師でもあるという
相反した二つの立場で過ごした二

私はウエスタン神学大学とホー
プ大学で研修したが、二つとも同
じキャンパス内にあるかのように
隣接しており、学生にとっては両
方の図書館が利用できることで便
利である。ここで大学の所在地に
ユニークさがあるので述べてみる
ことにする。

私が留学した大学町
ーアメリカのオランダー
神山 美代子

をのがれてアメリカに亡命し、プロテスタントの信仰を守り貫いた人々が住みつくようになり、自分達の町をつくったのである。そういうことで町の名前も、オランダと名づけた。

この町は人口約二万七千人の小さな町であるが、大学が二つ、教会が六七ある。そのうちカトリックは一つだけである。殆んど建物は大きく、特に内部装飾は芸術的で美しい。このような小さな町に大学が二つあるとは信じがたい

週間。実に多くの事を学んだ。

教師であることの楽しさと厳しさを感じ、人を教えることの難しさを痛感した。授業、課外活動、その他いろいろな面での触れあいを通して、中学生たちの気持を知った。実習での広がりのある人間関係によって、いろんな立場に立つてものを考えることができるようになったのはうれしい。

贈る言葉

保育科 リーブズナー智恵子

ての授業で、ある教師の言われたことが今でも忘れられない。大勢の『出会い』を経験する場所。いろいろな出会いを大切にし自己を高めていってほしい。その通り私達は、クラブ・サークル活動、あるいは教育実習などを通大勢の人々との出会いを経験した特に保育科としては、この地域社会で日々幼児教育に奮闘なさっている指導者達の姿を三つの異なった施設の実習の中で拝見し、保育者としての資質の根本に肌でふれることができた。理論は講義で教

が、学生の約八〇パーセントはアメリカのあらゆる州から集まってきた。又外国からの留学生も多い。そういうことで、夏休みやクリスマス休暇に入ると、いつも若者達の声でにぎわう大通りも活気のないさびしい町に変わる。しかし学期が始まると商店も「大学生おかえりなさい」のたれ幕が町中に見られ、学生を待ちわびている様子がうかがわれ、まさに大学町である。大学が町の教育、文化、宗教そして経済に影響をおよぼしていることはいうまでもない町の音楽会、演劇、コンサート、発表会、研究会、カーニバル等も大学が中心になっている。

この町のもう一つのユニークな点は、キリスト教信仰が生活のあらゆる部分に浸透していることである。たとえば、日曜日は、商店全部が閉まり安息日を守る。イースターには、イエスが十字架にかかる金曜日の三時から一時間店は閉じられる。

家庭においては、だいたいキリスト教教育がなされ、その中心的なリーダーは父親である。夕食後の静かな時間、家族のメンバーが揃う時を利用して、讃美と祈りのひとときを持つ。又日曜日には、教会に通わせて、聖書について学ばせるようであるが、これは先祖代々からの慣習である。申命記四章九節に「それらのことを、あなたの子孫に知らせなければならぬ」と記し、同十一章一九節には「これの子供たちに教え、家に座

えられる。しかし本当に自分のものとして学ぶことができたのは、人々との出会いを通してであった。保育専攻の学生には、数々の課題がなげかけられる。保育するものは、まず自分が整えられ、子どもの前に立ち、その子たちを動かしていく使命があるからだ。この二年間で本当に人の前に立つ姿勢が備えられたか、自己反省を含めいような意味で未熟さを感じた。しかし私達はいろんな本、人々との貴重な出会いを経験し自己課題を持って新たな出発点に立っている。これからも数多い出会いを経験するだろう。後輩達、どうかあなた達もその出会いを大切にし、自分の中に永遠に朽ちることのないものを見つけてほしい。

「人はたとい全世界を得ても、いのちを損じたら、何の得があるまい。」

— 聖書 —

学生生活の終りに

英語科 眞栄平洋子

「光陰矢の如し」今の私に言えることばです。

ついに大学生になったんだ。自
主的にいろんな分野へチャレンジ
して自分をうちこめるものをみつ
けよう。そして多くの友人と交流
しよう。二年前の入学の日、私の
心は希望に満ちていました。

高校の頃、クラブ活動を中途で
止め悔しい思いをした私だけに、
短大は、そういう思いをとりかた
せる機会だとも思っていました。

ところが、やろうと考えるだけ
でなかなか実行に移せず、一日使

している時も、道を歩く時も、寝る時も、起きる時も、それについて語り……」とあるように、おとなが彼らの信仰を、その子孫にうつがせるべきであることを強く認識していることがうかがわれる。

キリスト教幼児教育は教育と云うより、もはや養育であると云われる。親は言葉を使って習慣や価値観、道徳を教えていく。しかし子供は、それと同時に、時にはそれ以上に、無言の中で語られる両親の生活態度から多くのものを学んでいく。つまりその家庭がもっている雰囲気の中で子供は、その家風に染まっていく。

最後に授業について少しばかり述べる。大学の授業は講義を聞くと言ふより、学生による発表が主で、レポートやブックレポートはかなり頻繁に出され、学生に対する要求はきびしい。クラスのサイズは殆んど三〇名前後であったが、選択科目になると、人数は少し減り、場合によっては、教師と一对一で授業する場面もみられた。又、定年退職者が奉仕で教鞭をとつてゐるのを見て感激した。

私は一年間の留学期間中、私が学んだ大学以外でも、同伴した娘また教会の關係で、小学校、施設婦人会等で話す機会を与えられ、よい交流を持つことができた。

紙面の都合で、私の留学生活を十分描ききれなかったが、以上の報告を持って、感謝のことばにかなう。

(保育科 講師)

(一面より)

五七、三％にしか足りず現在の敷地では校地をこれ以上に広げることが不可能であるので、校地移転は至上命令であると受けとめて、校地移転の計画を進めて一坪献金運動を実施したところ、幸いにして県の内外から多くの賛同者を得てお

を閉じることになりました。

面倒な事にぶつかると逃げてばかりで、自ら努力しようとはしなかった私。こんな風ではいけないと思いがちでも、なんとかなるだろうと心の中では甘えていたのです。

こうして考えていくと、この短大生活で何が得られたかと不安になります。

もし運よく卒業できれば、私は東京で就職します。これまでなんとか過ぎてしまっただけに、社会という厳しさの中でつらい思いをすることでしょう。でも、あえて本土の寒さの中で自分を鍛えてみようと思います。

卒業にあたって

希望と不安に胸をふくらませて入学。あれからもう、二年がすぎた。新しい出発点に立とうとしている今。卒業という喜び・巣立つ希望・不安―そして淋しさ。



蔵書千冊を
若い人たちのために

本短大図書館にとつて、一九八二年の暮開けは素晴らしいものとなった。元琉球政府行政主席松岡政保氏より約千冊の圖書を寄贈していただいたのである。

寄贈された本の中には、「琉球王家伝来衣裳」「古琉球型紙」「匠心方」等の稀とう本、「球陽」「琉球史料叢書」「組踊全集」等の沖縄関連資料、図鑑類、美術書、その他多くの貴重なものがある。

キリ短図書館は現在三万冊以上の蔵書を有しているが、これは全国私立短期大学の平均蔵書数を上回る冊数である。小さいながらもかなり充実した図書館と言えるだろう。松岡氏の蔵書寄贈は図書館を質的にも量的にも一層充実させることとなった。一月二九日、松岡氏の自宅で行なわれた贈呈式で大城学長は「こうした貴重な本は教育上も大変価値がある。こんなにうれしいことはない」と感謝を述べ、亀川理事長も「図書館をさらに整備充実させ、松岡文庫を設けて大切にしていきたい」と謝意を表明した。寄贈された図書は、いま理事長室に保管しており、整理、分類しているところである。本土から遠く離れている沖縄では勉強にもいろいろ不便があらうと本の収集を始めたそうである。将来、図書館でもつくって、若い人達に利用してもらおうつもり

るのでこの計画は成功を取めることができる」と確信するものである。本学院がむかえた歴史の節目に立って、学院の将来を考えると、校地の移転なくして将来の発展はありえないと結論づけざるを得ず、内外の力の結集をお願いする次第である。

少人数教育をモットーとし、家庭的な雰囲気を保ち続けた我キリ短本。当然に有意義な短大生活でした。入学まもなく行なわれたオリエンテーションキャンプ。このキャンプで短大生活への夢が大きくなった学生が、どれだけ多かったことでしょう。「五月病を経験せずにはんだのはこのキャンプのおかげだ。」と、語る友。私もまた、その一人なのです。

後輩達のためにも、このキャンパスは伝統として守り続けてほしいと思います。その他、キリ短祭、スポーツデー、全学集会等、学生会を中心に全学の積極的参加により、諸行事を成功させました。又、私達保育科の学生にとっては、三つ（施設保育所、幼稚園）の実習を通して生きた教育を受け学ぶことができました。本当に感謝しています。

今卒業にあたって、先生方、事務職員の皆様、そして多くの友に「本当にありがとう。これからよろしく」と言いたい。そしてこれまで学び得たものを基礎として、より一層自己学習にはげんでいきたいと思う。最後に聖句を引用したいと思います。

「へびのように賢く、はとのように素直であれ。」——新約聖書——

であった。「私が持っているよりも、キリ短の図書館で利用していただいた方が本の値打ちも出るだろう」と笑顔で話しておられた。松岡氏は一八九七年のお生れであるから、すでに八〇才を越しておられるはずであるが、実に若々しくお元氣に見える。ハワイで、スクール・ボーイ（働きながら学校に通う学生のこと）をしながら苦学した後、米国本土に渡り、南カリフォルニア大学、トライステート工科大学、コロンビア大学に学んだ。電気工学を専攻されたそうである。一九六四年から一九六八年まで琉球政府行政主席として「波乱と激動」の時代に、沖縄のために尽力されたことは周知の事である。

松岡氏は一九七四年から一九八〇年まで三期六年間、本短大の後援会長を勤められた。キリ短を大変愛しておられ、キリ短の社会的評価が年々高くなっていくのを我が事のように喜んでおられる。キリ短の将来にも大きな期待をかけておられ、この度の蔵書のご寄贈にも氏の夢が託されている。

「必要な本を少しだけ手元に残した。本が読みたくなったらキリ短の図書館に出かけて行きます」と、にこにこ笑っておられた。手元に残した本の中には、聖書や宗教関係の本がかなりあった。宗教には非常に関心を持っている、とのことであった。ハワイで苦学していた頃、洗礼を受けられたそうである。松岡氏とキリ短との関わりは思いのほか深い所にあったのである。